

任期満了に伴う3学部の学部長
改選が各学部教授会で行われ、法
学部長に坂本武憲教授、商学部長
に内野明教授、ネットワーク情報

新学部長に聞く

学部長に伊東洋三教授が新たに選
任された。任期は本年9月1日か
ら2年間。新学部長3人に抱負を
伺った。

坂本 武憲 法学部長



「豊かさ」を目標としてきた
時代は、やがて終わりを告げ、新
たな価値観や思想を探り当てな
がら、その実現を目指す必要が
ない時期にきています。学生た
ちは「豊かさ」を目標としていま
いるともいえます。
これは本学の創立者たちが直面
した未来と重なるものがありま
す。このような時代に、伝統ある
本学法学部が目指すべき教育の基
本は、創立者たちが実践したもの
を目標とするべき教育方針
は、まず既存の価値観に依拠でき
ない「苦しさ」を克服して、それ
ぞれの方面で生き抜いていける強
さを学生に備えてもらうこと。さ
らにその苦難の中で新しい思想を
探り当て、その実現の先頭に立
てようとする人財として育ててい
くこと。この大きな使命の実現に
邁進していきける教育体制の維持
と改善に努めたいと考えていま
す。

創立者が実践した質の高い教育を目指す

「話す」「書く」技術の習得を目
指しています。法律学科では、11
年度から1年次生全員を対象とし
た基礎ゼミナールを設置するな
ど、初期導入教育の充実を図るこ
ととなっています。ただ法律学は
体系的に学ぶことが大切ですが、
初期導入教育と専門教育の慎重
な調整を図って、専門教育が「詰
め込み」にならないよう、配慮し
ていかなければなりません。
創立者たちが130年前に実践
した質の高い教育に近づきうるよ
う、法学部教員を始めとして、広
く大学の叡智を結集したいとい
うのが願いです。

内野 明 商学部長



入、翌年入学者からこれを適用し
ました。
その後も、「商業」から「マー
ケティング」への学科名称変更、
このように「専修大学の改革は
学部から」と言われるような努
力を重ねてきました。今後数年間
は、腰を落ち着けて学部教育の中
身の充実、より力を注ぎます。
この数年、本学は公認会計士試
験で目覚ましい実績をあげていま
す。今年合格者が調整されそ
うで、数の上で昨年の実績を超え
るのは難しいかと思われませんが、
会計学科ばかりでなく、マーケテ
ィング学科の現役学生もぜひ試験
を突破してほしいと思います。
学部教育は、知識を一方的に教
え込むものでも、
資格取得や就職の
ためにだけあるも
のでもありません。学生諸君が自
ら必要な情報・知識を選択し、継
続して身につける経験を通じ、一
生の知的活動の仕組み形成を助け
るべきものです。勉学だけでなく
、大学時代ならではの経験、活
動をしてほしいと思います。

自ら得た情報や経験、知的活動の糧に

「情報のスペシャリスト」を育
て、入学してくる学生は伸びる
ことが今までの経験から分かって
いますので、目標に向かってトレ
ーニングする環境づくりを進めて
いきたいですね。
学部専用の学習用スペースが1
つあります。最新の設備が揃って
いるので、学生からのご要望が
増えています。学生からのご要望
が、最も「社会」に近い学
びの場です。学生からの発案が
増えているのがうれしいです。地
域と連携してのテーマも今後は増
やしていきたいと考えていま
す。今年度は、法律学科におけ
る初期導入教育の充実です。政治
学科では、学科開設(06年)時か
ら1年次生全員を対象とした少人
数科目の「基礎文獻講読Ⅰ・Ⅱ」
により、政治を学
ぶのに不可欠な
「読む」「聞く」
の技術の習得を
目指しています。法律学科では、11
年度から1年次生全員を対象とし
た基礎ゼミナールを設置するな
ど、初期導入教育の充実を図るこ
ととなっています。ただ法律学は
体系的に学ぶことが大切ですが、
初期導入教育と専門教育の慎重
な調整を図って、専門教育が「詰
め込み」にならないよう、配慮し
ていかなければなりません。
創立者たちが130年前に実践
した質の高い教育に近づきうるよ
う、法学部教員を始めとして、広
く大学の叡智を結集したいとい
うのが願いです。

伊東 洋三 ネットワーク情報学部長



「やらないことが分かってい
る」といふことが分かってい
る。09年度からの新カリキュラム
は、社会のニーズに応えたもので
す。
「やらないことが分かってい
る」といふことが分かってい
る。09年度からの新カリキュラム
は、社会のニーズに応えたもので
す。
「やらないことが分かってい
る」といふことが分かってい
る。09年度からの新カリキュラム
は、社会のニーズに応えたもので
す。

目標持つ学生に 顔の見える教育を

「情報のスペシャリスト」を育
て、入学してくる学生は伸びる
ことが今までの経験から分かって
いますので、目標に向かってトレ
ーニングする環境づくりを進めて
いきたいですね。
学部専用の学習用スペースが1
つあります。最新の設備が揃って
いるので、学生からのご要望が
増えています。学生からのご要望
が、最も「社会」に近い学
びの場です。学生からの発案が
増えているのがうれしいです。地
域と連携してのテーマも今後は増
やしていきたいと考えていま
す。今年度は、法律学科におけ
る初期導入教育の充実です。政治
学科では、学科開設(06年)時か
ら1年次生全員を対象とした少人
数科目の「基礎文獻講読Ⅰ・Ⅱ」
により、政治を学
ぶのに不可欠な
「読む」「聞く」
の技術の習得を
目指しています。法律学科では、11
年度から1年次生全員を対象とし
た基礎ゼミナールを設置するな
ど、初期導入教育の充実を図るこ
ととなっています。ただ法律学は
体系的に学ぶことが大切ですが、
初期導入教育と専門教育の慎重
な調整を図って、専門教育が「詰
め込み」にならないよう、配慮し
ていかなければなりません。
創立者たちが130年前に実践
した質の高い教育に近づきうるよ
う、法学部教員を始めとして、広
く大学の叡智を結集したいとい
うのが願いです。

学位取得

山腰京子経営学部准教授
「写真」が、2008
年1月16日付で米コーネ



藤沢周平が
描ききれなかった
歴史
『義民が駆ける』を読む
は、出羽庄内地方で起こっ
た三方国替への反対一揆。
著者は、藤沢が描いた筋書
きとは別の筋書きがあった
のではないかと疑問をも
つ。これまでの研究蓄積
をもとに、藤沢が小説のた
めにたどった思考・試行を
解きほぐしていくことで、
より踏み込んだ歴史解釈を
提示している。
(柏書房・1800円＋税)
著者(あおき・みちお)
専修大学中編集主幹。元文
学部教授。専門は日本近世
史。

日本文化の原型

全集「日本の歴史」別巻
青木美智男著

嘗らしの暴政をなす日本
文化の源流を江戸時代に求
め、日本独自の文化がどの
ように形づくられたかをひ
もといた。



衣食住にはじまり旅、演
劇、出版教育のありよう、
庶民の興味の移ろい、環境
問題……。多様な分野を取
り上げ、発信側でなく、受
け手側の視点で展開した異
色の文化史。江戸時代の文
化の成熟度をあらためて見
直す一書だ。
(小学館・2600円＋
税)

公開講座情報

*詳細はホームページをご覧ください

- 【歴史を紐とく—古代東アジア世界と日本・中国】
▶日時＝9/26、10/10、24、10時30分から12時、13時から14時30分(1日2講座) ▶内容＝「天岩戸神話と遣隋使」、「桓武天皇と遣唐使」など。▶場所＝生田キャンパス▶圖 エクステンションセンター事務課 ☎044(911)1268
- 【政策科学シンポジウム「世界大不況と日本の行方」】
▶日時＝10/17、13時15分から17時 ▶内容＝浜矩子同志社大学大学院ビジネス研究科教授による基調講演、パネルディスカッション
- 【現代日本政治の「光」と「影」】
▶日時＝10/2、9、16、23、18時30分から20時30分 ▶内容＝「麻生政権と『解散・総選挙』」、「戦後民主主義」ほか ▶上記2講座とも生田キャンパスで開催。▶図・圖 大学院事務課 ☎03(3265)6568
- 【文学部・人文セミナー】
▶日時＝10/9、15時から18時 ▶内容＝時代考証家、企業ミュージアムの学芸員、シネマエッセイストとして活躍する文学部の女性卒業生3人が、自らのキャリアについて語り、後輩へのアドバイスをを行う。一般の方も聴講可能。
- 【第43回文学部公開講座「メディアの過去・現在・未来」】
▶日時＝10/24、10時から15時30分 ▶内容＝「メディアの掟」、「日本新聞事始め」、「問われるメディアの公共性」、「図書館はどこへ向かうのか」 ▶上記2講座とも生田キャンパスで開催 ▶図・圖 教務課文学部 ☎044(911)1254

専修人の新刊

「義民が駆ける」の主題
は、出羽庄内地方で起こっ
た三方国替への反対一揆。
著者は、藤沢が描いた筋書
きとは別の筋書きがあった
のではないかと疑問をも
つ。これまでの研究蓄積
をもとに、藤沢が小説のた
めにたどった思考・試行を
解きほぐしていくことで、
より踏み込んだ歴史解釈を
提示している。
(柏書房・1800円＋税)
著者(あおき・みちお)
専修大学中編集主幹。元文
学部教授。専門は日本近世
史。